

< あなたの治療について >

泌尿器 - Avelumab - 尿路上皮 - q2w

今回の治療は、Avelumab という治療法で、バベンチオという注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は2週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を2週間（14日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～14日目
①	アセトアミノフェン レスタミン (熱・アレルギーを 抑える薬)	内服		お休み
②	バベンチオ (抗がん剤) 10 mg/kg	点滴 約60分		

★点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

バベンチオによる

●インフュージョンリアクション ●下痢 ●疲労

◎特徴的な副作用について

バベンチオにおける

●インフュージョンリアクション

「呼吸困難、意識の低下、意識の消失、まぶた・唇・舌のはれ、発熱、寒気、嘔吐、咳、めまい、動悸（どうき）、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、息苦しい」などの症状

* 免疫チェックポイント阻害剤における副作用は、別添の資料を参照して下さい。

* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【バベンチオ】

〔間質性肺疾患〕 咳、息切れ、息苦しい

〔膵炎〕 強い腹痛、背中痛み、吐き気

〔肝不全、肝機能障害、肝炎〕 皮膚や白目が黄色くなる、体がだるい、食欲不振

〔大腸炎、重度の下痢〕 持続する下痢、腹痛、血便

〔甲状腺機能障害〕 汗をかきやすい、むくみ、気力がでない

〔副腎機能障害〕 体がだるい、意識の低下、血圧低下

〔下垂体機能障害〕 体がだるい、意識の低下、血圧低下

〔1 型糖尿病〕 喉が渇く、吐き気、嘔吐

〔心筋炎〕 息切れ、動悸、胸痛

〔神経障害〕 手足のしびれ、手足の痛み、顔の筋肉がまひする

〔腎障害〕 尿量が減る、むくみ、体がだるい

〔筋炎、横紋筋融解症〕 筋力の低下、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる

〔インフュージョン・リアクション（薬剤注入に伴う反応）〕 アナフィラキシー反応、発熱・寒気、呼吸困難

〔重症筋無力症〕 まぶたが下がる、力が入らない、息苦しい

〔脳炎〕 発熱、意識の低下、頭痛

◎上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。